

## 国立大学法人島根大学役員会（第403回）＜議事要録＞

日時 令和6年2月20日（火） 14:00 ～ 14:50  
場所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）  
出席者 服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，藤波理事  
オブザーバー 千家監事，栗原監事  
欠席者 宮脇理事，上野理事  
〔陪席：企画部長，研究・地方創生部長，教育・学生支援部長，総務部長，  
財務部長，松江地区学部等事務部長，医学部事務部長〕

### 議決事項1 学則及び大学院学則の一部改正について

- 肥後理事から学則及び大学院学則の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

### 議決事項2 教学マネジメント委員会規程の一部改正について

- 肥後理事から教学マネジメント委員会規程の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

### 議決事項3 国立研究開発法人理化学研究所放射光科学研究センターと国立大学法人島根大学との包括的連携に関する協定の締結について

- 服部学長から国立研究開発法人理化学研究所放射光科学研究センターと国立大学法人島根大学との包括的連携に関する協定の締結について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

### 議決事項4 令和6年度国立大学法人総合損害保険等の加入内容について

- 藤田理事から令和6年度国立大学法人総合損害保険等の加入内容について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

### 協議事項1 定期モニタリングの実施について（学生の休学・退学防止対策）

- 肥後理事から定期モニタリングの実施について（学生の休学・退学防止対策）説明があった。
- 服部学長から，休学・退学理由が進路変更・進路再考の場合について，学生の関心が別の分野に移ったということであれば，転学部等により休学・退学防止に繋げることは出来ないかとの質問があり，肥後理事から，転学部等の希望が実現しなかったために休学・退学に繋がったという事例は聞いていないが，今後そのような事例が起こらないよう，転学部等に伴う既修得単位の取扱い等を柔軟に考えるなど配慮が必要と考えているとの回答があった。
- 服部学長から，勉学意欲喪失が根本にある場合，学ぶ場のミスマッチも考えられるため，レイトスペシャライゼーションの導入や転学部・転学科の敷居を低くすること等により退学の防止に繋がるのではないかとの意見があった。肥後理事から本学では低学年次よりも4年次以降の退学者が多く，4年の間に徐々に学習意欲を喪失していった結果退学に繋がる傾向があると考えられるため，どのように対応していくかが課題であるとの発言があった。
- 服部学長から，大学院進学率を学生の学習満足度の一つの指標であると考えたとすると，本学の大学院進学率は高いとは言えず，4年間の学習成果が表れていないとの捉え方も出来るため，教育の根幹に関わる大きな課題があると考えられるべきではないかとの発言があった。
- 椎名理事から，医学部は卒業後の進路が明確であり，学内での進路変更は困難なため，学力不振等の学生が最終的に退学という結果にならないよう，どのような支援が可能か考えていく必要があるとの発言があった。

- 藤田理事から、各学部において学生の状況を踏まえて様々な指導を行っているにも関わらず退学の状況が大きく改善していない中で、実際に学生指導にあたる教員とどのように問題意識を共有していくべきかとの質問があり、肥後理事からコーチングなど基本的なサポートスキルを身に付けるためのFD等により、総合的に学生の状況等を見ていく意識を持つことが重要となるのではないかとの回答があった。
- 千家監事から、個々の学生ということではなく、世代に共通して見られる特徴や傾向といった情報を知識として教職員全体で共有することも必要ではないかとの意見があった。

#### **報告事項1 附属病院運営状況について**

- 椎名理事から附属病院運営状況について報告があった。

#### **報告事項2 全学委員会の議事報告について**

- 書面による報告があった。